



第18回常任理事会

日時 平成20年12月9日（火）18：00～20：12
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本・前川各常任理事、高木・水元・中村各監事
 （事務局：島影事務局長ほか10名）

協議事項

第1号 国保審査委員会委員の推薦に関する件

（西里常任理事）

関係郡市医師会、専門医会から推薦のあった保険医代表40名（委嘱時74歳未満）を北海道知事に推薦することと決定。

第2号 支払基金審査委員会委員の補充推薦に関する件（西里常任理事）

診療担当者代表1名（眼科）の辞任に伴う後任委員として、北海道眼科医会から推薦のあった1名を推薦することと決定。

第3号 北海道医師会職員就業規則等の一部改正に関する件（深澤常任理事）

平成16年に育児・介護休業法が一部改正され、平成17年4月1日から施行されていることに伴い、当会職員就業規則等を改正し12月9日付けで施行することと決定。

第4号 平成20年度道医会費減免追加申請に関する件（深澤常任理事）

道医会費減免申請者、研修医1名（免除額8,000円）の免除を承認決定。

第5号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡辺常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座27件、道医認定生涯教育講座24件、合計51件を承認することと決定。

第6号 第5回全理事会の議案に関する件

（深澤常任理事）

12月13日（土）午後4時から札幌グランドホテルで開催する全理事会の提出議案を決定。

第7号 その他

- (1) 平成21年1月行事予定に関する件（事務局）
- (2) 平成21年度予算編成会議の開催日程に関する件（事務局）

平成21年度の予算関係三役・担当部長会議を明年1月18日（日）に行うことに決定。

報告事項

1. 平成20年度保険医療医師研修懇談会について

（西里常任理事）

各会員が保険医療に関する理解を深め、より適正な保険診療を実践していただくことを目的に、平成14年度より全道各地に赴き開催しているが、今年度は名寄市はじめ4地区6医師会の会員を対象に開催した。各回とも「保険診療のルールと保険指導・監査」「保険診療上の留意事項」について担当役員より説明した後、意見交換を行った。受講者は延べ136名（病院医師32名、診療所医師104名）であった。

2. 日医再就業支援事業保育システム相談員講習会 [11月19日(水)]について（藤井常任理事）

本年2月に実施した院内保育所を含む医師就労支援に関する病院アンケート調査結果の報告後、保育システム相談員についての趣旨説明が行われた。続いて鹿児島市、松江市・出雲市、大阪市からそれぞれの地域の保育サービスの概要報告があり、小職からは札幌市の同サービスについて説明した。

3. 第25回道州制特別区提案検討委員会 [11月27日(木)]について（直江常任理事）

道民から提案のあった医療関連の21項目について、参考人として宮本副会長、北野常任理事、小職の3名が出席した。全項目につき賛成できるものはなく、反対の姿勢を表明した。

4. 緊急臨時的医師派遣事業第8回運営委員会 [11月28日(金)]について（深澤常任理事）

派遣更新の依頼があった2医療機関2診療科の状況について、条件を精査の上、派遣を決定した。なお、更新は原則1回限りとすることを確認した。

5. 渡島地域保健医療福祉連絡協議会研修会 [11月29日(土)・函館市]について（目黒常任理事）

小職より、本道における「救急医療の現状と今後の展望について」講演し、質疑応答を行った。出席者は46名であった。

6. 勤務医部会全体会議 [11月30日(日)]について

（北野常任理事）

長瀬会長の挨拶の後、各担当者より、日医勤務医委員会、日医男女共同参画委員会、日医男女共同参画フォーラム、勤務医懇談会、全国医師会勤務医部会連絡協議会等について報告があった。また、討議では「地域医療の状況について」をテーマに、函館市・桧山・上川北部・十勝医師会の各部会員による指名発言が行われ、その後、質疑応答がなされ、活発に意見交換が行われた。

7. 病院管理研修会[11月30日(日)]について

(北野常任理事)

北海道病院協会との共催により、札幌会場をメイン会場として8会場にTV会議システムを利用し開催した。今年度は「病院医療はどこへ行く」をテーマとし、徳島県病院事業管理者 塩谷泰一先生にご講演いただき、質疑応答を行った。参加者は193名であった。

8. 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会[12月4日(木)]について (北野常任理事)

11月22日に浦安市で開催された「全国医師会勤務医部会連絡協議会」の概要と、来年度担当の島根県医師会から日程等の報告があった後、「医師の大同団結を目指して」をテーマに協議に入り、大阪府医師会から『大阪市勤務医の実態』、鹿児島県から『勤務医加入状況』、当会からは小職が『緊急臨時的医師派遣事業』について説明した。ついで、あらかじめ提出されていた①診療参加型病診連携、②事故調査委員会、③勤務医の待遇改善、について活発な議論が行われた。

9. 審査委員懇談会[12月5日(金)]について

(西里常任理事)

総勢97名の参加のもと、支払基金、国保連合会、労災の各審査委員を交えた懇談会を、京王プラザホテル札幌にて開催した。

10. 家族計画・母体保護法指導者講習会 [12月6日(土)]について (深澤常任理事)

唐澤日医会長の「国民が求める最善の医療をめざしてー地域医療崩壊から救う道ー」と題する講演と、「産科医療の現状と将来展望」と題して、(1)地域周産期医療システムについてー神奈川県を取り組み、(2)広域周産期医療システムについてー関西の取り組み、(3)産科医師の就労環境について、(4)女性医師の就労に関する課題について、4名のシンポジストと1名の指定発言者(厚労省担当課長)によるシンポジウムが行われた。

11. 平成20年度医政講演会[12月6日(土)]について

(直江常任理事)

長瀬会長が座長を務め、慶應義塾大学商学部・権丈善一教授を講師に招聘して「小さすぎる政府の医療政策」と題しご講演いただいた。函館市ほか7郡市医師会をテレビ中継し、80名が聴講した。

12. 日医各委員会報告

(1) 男女共同参画委員会[11月12日(水)]について

(藤井常任理事)

病院に勤務する女性医師に対するアンケートの実施を決定し、その後、第5回男女共同参画フォーラム(平成21年札幌開催)のプログラムについて検討を行った。

(2) がん対策推進委員会[11月21日(金)]について

(畑副会長)

今回から委員が3名増え17名となった。議事

では、会長諮問の「がん検診の今後のあり方ー検診受診率向上と精度管理システムー」に関するフリートーキングが行われた。また、厚生労働省が都道府県を通じて行った「市区町村におけるがん検診実施状況等の調査結果」について報告があった。当委員会からは、日医会員がどのようにがん検診を行っているのか、アンケート調査を実施することになった。

(3) 社会保険診療報酬検討委員会[11月26日(水)]について (西里常任理事)

冒頭、藤原日医常任理事より中医協の現状等について報告があった。続いて協議事項に移り、諮問事項1「平成20年度診療報酬改定の評価」について、意見を交換し討議した。

(4) 学校保健委員会[12月3日(水)]について

(三戸常任理事)

学校保健に関する中央情勢について文部科学省専門官からの報告の後、近畿医師会連合からの学校保健に関する要望について検討した。また、明年2月21日(土)に開催する「平成20年度学校医講習会」のプログラムを決定し、子どもの健康と環境に関する全国調査について、環境省の担当職員から説明があった。その後、諮問事項に関しフリートーキングを行った。

(5) 救急災害医療対策委員会[12月3日(水)]について (目黒常任理事)

頻発している周産期医療の諸問題と救急医療体制等について検討した。

(6) 健康スポーツ医学委員会[12月4日(木)]について (榊山常任理事)

日医認定スポーツ医講習会カリキュラムの改定について意見交換を行った。また、前回の委員会において意見が出されたマニュアルの内容やテーマについて、小委員会を設け検討することになった。

(7) 医療IT委員会[12月4日(木)]について

(藤原常任理事)

標記委員会の第3回会議が開催され、テレビ会議システムにより参加した。中川日医常任理事からの麻生総理の発言問題を中心に近況報告後、議事に入り中間答申「レセプトオンライン請求義務化」についてディスカッションを行った。委員会として、完全義務化に強く反対する内容でとりまとめを行う予定である。

(8) 病院委員会[12月5日(金)]について

(山本常任理事)

「病院病床の機能分化のあり方」「療養病床の再編に向けた対応」について議論し、続けて「今後の医師養成のあり方について」本委員会としての議論のまとめについて検討した。

13. 外部各委員会報告

14. 各部報告

(1) 第3回医療保険担当理事会[12月2日(火)]について(西里常任理事)

日医社会保険診療報酬検討委員会に提示する「次期診療報酬改定に対する意見・要望(案)」等について、協議・検討を行った。

(2) 第6回医療政策部担当理事会[12月6日(土)]について(直江常任理事)

今事業の進捗状況ならびに次年度の事業計画等について検討した。次年度も、今年度と同様に地域に出向く活動を推進することが了承された。

15. その他

(1) 会員数について(深澤常任理事)

平成20年11月30日現在の道医会員数は8,462名で、内訳はA会員2,599名、B1会員554名、B2会員4,529名、C1会員105名、C2会員187名、C3会員488名となっている。日医会員は、6,204名である。

道総医協関連事項(三宅副会長)

1. 第3回救急医療専門委員会[11月26日(水)]について(目黒常任理事)

ドクターヘリの新たな導入について検討し、導入の意向を示している道北圏および釧路・根室圏については、重症・重篤救急患者の医療機関までの収容所要時間等を考慮し、2圏域への導入を図るべきであるとの意見をまとめた。

第5回全理事会

日時 平成20年12月13日(土) 16:00~17:55
場所 札幌グランドホテル 3階・新緑
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、上埜・竹田・城・鈴木・増田・古屋・吉田各理事、高木・水元・中村各監事、飯塚顧問、塩野副議長、島田日医裁定委員、河西・山光両日医代議員。

(事務局：島影事務局長ほか13名)

1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 報告事項

(1) 麻生総理大臣の問題発言に対する抗議について(宮本副会長)

11月19日の全国知事会、翌20日の経済財政諮問会議での麻生総理大臣の問題発言に対して、当会から抗議文を麻生総理大臣に直接送付した。併せて、道内郡市・医育機関医師会にも周知するほか、全閣僚、自民党本部、自民党道連、

道医連推薦自民党国会・道議会議員、道医連推薦次期衆院選挙立候補予定者、日医・都府県医師会、道政記者クラブ所属マスコミ各社に、そして後者の抗議文については「日本の医療を守る道民協議会」構成団体にも通知した。

(2) 緊急臨時的医師派遣事業について

(宮本副会長)

これまでの派遣申請医療機関、派遣元登録医療機関、運営委員会での調整・決定状況について報告した。

(3) 日医各委員会報告

1) 医師会共同利用施設検討委員会[10月8日(水)・12月10日(水)]について(竹田理事)

地域の医師会共同利用施設で抱えている問題点等について各委員から報告があり、意見交換を行った。なお、12月10日の委員会では病院経営から撤退する方針を示した釧路市医師会病院の説明が求められ、報告した。

2) 公衆衛生委員会[11月12日(水)]について

(鈴木理事)

地域における疾病予防対策の事例および諮問「疾病予防対策の将来展望について」に対するフリートーキングが行われた。今後、答申をまとめていく上で、各論として①特定健診・特定保健指導、②たばこ対策、③がん対策の3つのテーマに絞り、具体的な提言を行っていく予定である。

3) 母子保健検討委員会[11月13日(木)]について(城理事)

明年2月22日(日)に日医で開催予定の「平成20年度母子保健講習会」の要綱を決めた。メインテーマは「子ども支援日本医師会宣言の実現を目指して-3」である。また、麻しん風しんの第3期・第4期予防接種の推進やインフルエンザの対応等につき説明があり、議論された。その後、会長諮問に関するフリートーキングが行われた。

4) 国民生活安全対策委員会[11月20日(木)]について(増田理事)

「食品安全に関する情報システム」モデル事業第2次判定の判断基準に基づき、本年8月から11月までの7事例について検討したが、5段階中、ほとんどがレベル3(要監視)、レベル4(注意喚起)であった。また、本年3月19日以降の国民生活安全に関する主な報道に関して報告された。

5) 環境保健委員会[12月3日(水)]について

(古屋理事)

環境省環境安全課担当者から、胎児・児童の科学物質ばく露を原因とする発達・発育異常を明らかにする「子どもの健康と環境に関する全国調査」について説明され、その協力依

頼があった。環境に関する日本医師会宣言(案)では、その内容や文章について意見交換を行い、次回の委員会で最終決定を行う。また、会長諮問の「環境保健に関する情報システムの構築」についてフリートーキングが行われた。

(4) 各部報告

1) 医療関連事業部：道立衛生学院および高等看護学院について（北野常任理事）

北海道保健福祉部医療政策課より「衛生学院及び高等看護学院のあり方」について、准看護学校や18歳人口の減少等が原因により看護師2年課程をはじめ各課程において定員割れが生じており、平成18年2月に策定した「民間開放推進計画」に基づき、廃止や移管等を検討しているとの説明を受けたが、当会としては、看護師確保の重要性に鑑み、今後とも廃止反対の姿勢で臨むこととしている。

2) 総務部・財務部：公益法人制度改革について（深澤常任理事）

新しい公益法人制度への対応について、総務部・財務部合同担当理事会の開催等、現状把握を行っている。12月より施行された直後であり不透明な部分も多く、日医ほか他関係法人や内閣府・国税庁等動向の情報収集に努め、今後とも随時検討していく。

(5) その他

4. 承認事項

(1) 外部各委員会等委員の推薦について

(深澤常任理事)

10月開催の平成20年度第4回全理事会以降に諸団体から依頼があり推薦をした委員2件につき報告、承認決定。

(2) 国保審査委員会委員の推薦について

(西里常任理事)

関係都市医師会、専門医会から推薦のあった保険医代表40名(委嘱時74歳未満)を北海道知事に推薦することを承認決定。

(3) 支払基金審査委員会委員の補充推薦について

(西里常任理事)

診療担当者1名(眼科)の辞任に伴う後任委員として、北海道眼科医会から推薦のあった1名を推薦することを承認決定。

5. 協議事項

第1号 平成20年度道医会費減免追加申請に関する件(深澤常任理事)

道医会費減免追加申請者 研修医1名(免除額8,000円)の免除を決定。

第2号 平成21年新年交歓会の開催に関する件

(深澤常任理事)

平成21年1月6日(火)午後6時30分から札幌グランドホテルで開催することと決定。

第3号 理事提案事項

古屋理事より、札幌の歯科診療所で患者の一部負担金免除を行っていたことについて発言があり、西里常任理事より今後厚生局とも協議しながら間違いないよう対処する旨述べられた。

城理事からは、先般の都市医師会長協議会で、オブザーバー出席者の発言により他の都市医師会長の発言時間を奪ってしまったことに対し陳謝の言葉が述べられた。

河西日医代議員からは、最近の医療審議会において、周産期医療を担うとは思えないビル開業の産婦人科の開設許可が行われていることについての発言があり、宮本副会長より全国的な問題でもあることから都道府県医師会長協議会で質問する旨述べられた。

6. 道総医協関連事項(三宅副会長)

10月4日開催の第4回全理事会以降に開催された諸会議について報告があった。

7. 閉会

第19回常任理事会

日時 平成20年12月22日(月) 18:48~21:21

場所 北海道医師会館9階・理事会室

出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・山本・北野・渡辺・三戸・目黒・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本・前川各常任理事、高木・水元・中村各監事
(事務局：島影事務局長ほか11名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(深澤常任理事)

12月17日の審査委員会で指定「可」とされた新規2名、再審1名の申請者を指定医師に決定。

第2号 病院運営等検討委員会の廃止に関する件

(深澤常任理事)

病院運営に関する諸問題の検討、意見交換等は、本年度再開した「病院団体懇談会」の場において今後実施することに伴い、本委員会の廃止を決定。

第3号 看護対策委員会の廃止に関する件

(深澤常任理事)

毎年開催している「医師会立准看護学校連絡協議会」とメンバーが重複しており、その場において諸問題の検討が可能なことから本委員会の廃止を決定。

第4号 テレビ会議システム・固定IPアドレスの解約に関する件(藤原常任理事)

平成21年2~3月は、テレビ会議システムを使用する予定がないので、固定IPアドレスを1月末日で解約することと決定。

第5号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（目黒常任理事）

認定要件を満たした新規45名、更新27名の申請を承認。日医へ推薦することと決定。

第6号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（目黒常任理事）

認定要件を満たした新規7名、更新1名の申請を承認。日医へ推薦することと決定。

第7号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡辺常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座43件、道医認定生涯教育講座38件、合計81件を承認することと決定。

第8号 その他

報告事項

1. 緊急臨時的医師派遣事業第9回運営委員会[12月12日(金)]について（宮本副会長）

継続更新の申請のあった2医療機関2診療科、および新たに申請のあった4医療機関の状況について、条件を精査の上、派遣を決定した。

2. 救急医療対策部会小委員会[12月12日(金)]について（目黒常任理事）

小児救急地域医師研修会等の実施状況を報告し、その後、明年1月25日（日）に開催する救急医療対策部会全体会議ならびに救急医療研修会の内容等を協議した。

3. 北海道知事との対談[12月17日(水)]について（長瀬会長）

北海道医療新聞社の企画という形で、地域医療・救急医療、道民の健康の保持・増進、今後の展望等について対談した。1月下旬に掲載される予定である。

4. 第1回北海道地区緊急被ばく医療ネットワーク協議会[12月18日(木)]について（目黒常任理事）

緊急被ばく医療活動実施要領の改訂について協議した。小職から協議会の運営について意見を述べた。

5. 日医理事会報告（長瀬会長）

12月16日開催の第10回理事会において、承認事項では「医師臨床研修制度に対する日本医師会の見解」の報告を受け大筋承認し、協議事項では日本医師会表彰規程改正の件、日医IT日レセ操作実務者（認定オペレータ）資格創設の件、都道府県医師会助成費の取り扱い変更の件、等について協議し、すべて提案どおり決定した。

6. 日医各委員会報告

(1) 医療関係者対策委員会[12月12日(金)]について（北野常任理事）

田中滋慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授より「看護基礎教育のあり方に関する懇談会」「看護の質の向上と確保に関する検討会」の議事内容について説明を受けた。その後、厚労省に対する日医の要望事項や平成20年度都道府県

医師会医療関係者担当理事連絡協議会の開催要領などについて確認した。

(2) 介護保険委員会[12月18日(木)]について（三宅副会長）

厚労省老健局老人保健課・田中央吾課長補佐より「要介護認定について」、21年4月より変更となる認定調査項目、一次判定の内容変更等について説明が行われた。続いて、介護報酬改定について、三上常任理事より社会保障審議会介護給付費分科会において、改定率を政府与党が公表したプラス3%とし、次回改定に際しては、介護従事者の処遇改善に向けた取り組みの一層の促進など「今後の方向性」を盛り込むことなどをとりまとめたとの報告があった。

(3) 第5回男女共同参画フォーラム準備委員会[12月21日(日)]について（藤井常任理事）

本フォーラムのプログラム内容の検討を行い、概要を決定した。

7. 外部各委員会報告

(1) 第1回北海道がん対策推進協議会[12月15日(月)]について（長瀬会長）

会長に小職が、副会長に北海道がんセンター院長・西尾正道委員が互選された後、道担当者から、北海道がん対策推進計画や平成20年度における道のがん対策について説明があった。その後、がんの医療体制をはじめ、がん患者のサポート、がんの予防と早期発見、がん登録等について意見交換をした。

(2) 第2回北海道看護職員確保モデル事業検討会[12月15日(月)]について（北野常任理事）

未就業看護職員に対する臨床実務研修の要綱や今年度の事業報告について説明があり、その後、臨床実務研修のプログラム内容や研修施設における役割と準備などについて協議した。

(3) 道民の健康づくり推進委員会地域・職域連携推進専門部会[12月19日(金)]について（三戸常任理事）

第二次保健医療福祉圏域における地域・職域連携推進の取組み状況と、地域健康づくり行動指針の進捗状況について報告された後、北海道における特定健診・保健指導事業の実施状況の件、健診・保健指導担当者の人材育成の件に関して協議した。また、北海道におけるがん対策や、成人歯科保健対策について情報提供があった。

(4) 第2回北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画検討協議会[12月19日(金)]について（三宅副会長）

道高齢者保健福祉課より第4期の「高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画（中間とりまとめ）について」「介護保険事業支援計画に係る介護サービス量等の見込み（11月中間値）につ

いて「必要入所（利用）定員総数について」の報告説明が行われ、種々意見交換が行われた。今後、1月に当検討協議会で素案を策定し、2月に道議会へ素案を報告。その後1カ月のパブリックコメントを実施後、3月に同計画案を検討し、年度内に策定することとなった。

8. 各部報告

(1) 第2回医業経営・福利厚生部担当理事会[12月13日(土)]について（橋本常任理事）

明年2月14日（土）に開催を予定していた郡市医師会医業経営担当理事連絡協議会について協議した結果、緊急的課題がないなどの理由により、本年度の開催は見送ることとなった。

(2) レセプト・オンライン請求義務化について（藤原常任理事）

去る10月8日（水）、自民党道連団体政策懇談会において「レセプト・オンライン請求義務化」について、「北海道医師会では完全義務化に対し反対を表明しており、対応できない医療機関には救済措置をとるよう」要望したところ、12月

11日付で北海道議会議長名にて、内閣総理大臣・厚生労働大臣・衆参両議院議長宛てに「完全義務化反対の意見書」を提出いただいた。

9. その他

道総医協関連事項

1. 第2回救急医療専門委員会救急医療情報システム検討WG会議[12月15日(月)]について

（三戸常任理事）

今後のシステムの見直しについて協議を行い、引き続き検討することとなった。また、病院群輪番制参加病院で本システムに情報提供されていない医療機関があるため、その理由を確認することとした。

2. 第1回看護対策小委員会[12月17日(水)]について

（北野常任理事）

委員長に小職、副委員長に道看護協会長・若山委員を選出後、訪問看護の推進、助産師業務に係る調査、看護学生の母性看護学実習の実態調査について協議した。また、来年度の「訪問看護推進協議会」設置へ向けて検討を行い、小委員会を準備会の位置づけとすることとした。

道医の動き

12月11日 佐藤副知事との懇談、日医会員の倫理・資質向上委員会（上埜理事）

12月12日 救急医療対策部会小委員会、救急医療部担当理事会、うつ病に関する研修会（帯広市、小山常任理事）、精神科医との医療連携に関する帯広市・十勝医師会との懇談（帯広市、小山常任理事）、緊急臨時的医師派遣事業運営委員会、日医医療関係者対策委員会（北野常任理事）、日医有床診療所に関する検討委員会（西池理事）

12月13日 第5回全理事会、医療保険部担当理事会、健康教育事業部担当理事会、地域保健部担当理事会、医業経営・福利厚生部担当理事会

12月15日 日医生涯教育協力講座打合せ

12月16日 日医理事会（長瀬会長）、「北海道看護の日および看護週間」実行委員会

12月17日 母体保護法指定医師審査委員会、情報広報部担当理事会、会長と知事との対談

12月18日 日医介護保険委員会（三宅副会長）

12月19日 地域福祉部担当理事会、山本副知事との懇談

12月20日 日本プライマリ・ケア学会理事会（三宅副会長）、東京大学医療政策人材養成講座（直江常任理事）

12月21日 男女共同参画フォーラム準備委員会（藤井常任理事）

12月22日 三役会、第19回常任理事会

12月23日 都道府県医師会特定健診・特定保健指導連絡協議会（長瀬会長、宮本副会長、榊山・三戸各常任理事）

1月 6日 新年交礼会

1月 9日 日医勤務医委員会（三宅副会長）

1月10日 産業保健研修会、女性医師と医学生との懇談